

令和元年度 第6回 日野町校区審議会議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	令和元年 12 月 24 日（火） 13:30 開会
2. 場 所	日野町役場 大会議室
3. 開会（閉会）	13:30～15:30
4. 出席委員等氏名	委員：本名俊正、山本武史、神庭賢一、下村敏彦、其山守美、安達才智、緒形明朗、高田昭徳、長谷川弘信、遠藤公俊 事務局：生田 進、砂流誠吾、長谷部崇樹、遠藤律子
5. 会長あいさつ 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・年号が変わり令和となって、安全だと思っていたところで災害が起きるなど予想以上に大変な年だった。 ・外国人労働者が増え、長い期間の国際交流が必要となり、多様化、多文化の方と共に生きる社会となってきた。学校教育も大きく変わらざるを得ない時代となり、様々な対応をしなくてはならない。 ・前回の校区審議会では、新義務教育学校をつくり教育を充実させるということとなり、教育委員会に提出する答申の原案をまとめてみた。 また、小中高一貫校についての説明や、保護者アンケートのことも含めて審議していきたい。 ・米子市では和田小、大篠津小、崎津小が美保中と一体となって義務教育学校をつくる方向で進んでいる。 ・日野町校区審議会でも方向性は決まったので、答申するにあたりきめ細かい、質の高い教育をするためのお願いをしていきたい。
6. 報 告 会 長 課 長 会 長 課 長	<ul style="list-style-type: none"> ・(1) 第5回審議会の概要について事務局からお願いします。 ・資料1 令和元年 10 月 8 日 第5回校区審議会議事録 答申の内容について各委員から意見をいただき、会長が義務教育学校を目指す方向でよいか確認され、全会一致で了解を得た。 ・議事録について修正があればお願いしたい。 ・P2 17 行目 「たちか」→「たちが」 訂正 ・(2) その他 事務局からありませんか。 ・小中高一貫校について 資料3 2022 年、東京都立小中高一貫校が開校。公立は1箇所。 抽選と適性検査により入学者を決定するため、町内に学校

<p style="text-align: center;">会 長</p>	<p>が少ない本町にはそぐわない形である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともと中高一貫校があり、そこに小学校を加えて国際教育、英語教育に力を入れていくもの。 <p>都立の小学校は初めてだが、我々が考えているような小中学校と高校との連携とは少し違う。</p>
<p>7. 協 議</p> <p style="text-align: center;">会 長 課 長</p> <p style="text-align: center;">会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 答申の内容について事務局から説明をお願いします。 ・ 資料 2 説明 <p>審議会で議論いただいた内容を、諮問ごとにまとめたもの。</p> <p>1 これまでの審議会の議論及び到達点</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒数の減少に対応した学校の在り方について (2) 保小中一貫教育の視点から見た学校の在り方について (3) 日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定について 施設一体型の義務教育学校を設置することが望ましい。 (4) 小学校統合または義務教育学校の設置等、新たな学校を設立する場合の位置について 現存の学校施設を増改築して使用するのが現実的。 <p>2 答申</p> <p>新たに義務教育学校を設置し、校区は日野町全地区。</p> <p>付記</p> <p>(1) ~ (9) 条件などを示したもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H30. 11. 19 諮問事項 <p>日野町立小学校、中学校等の設置及び校区の設定について</p> <p>→ 2 答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査及び審議内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒数の減少に対応した学校の在り方について → 児童生徒が、お互いに関わり合いながら社会性を身に付け、また学力を伸ばしていくためには、一定程度の規模を保つ学級や学校であることが望まれる。 (2) 保小中一貫教育の視点から見た学校の在り方について → 「生きる力」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の推進、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められているが、これらの要素をより効果的、戦略的に行い義務教育の水準を向上させることが期待される学校の教育環境について検討していく必要がある。 <p>保小中一貫教育をより充実させ、中学校卒業時に日野町</p>

<p style="text-align: center;">委員</p>	<p>の未来をつくっていかうとする意欲をもった生徒を育成するためには、義務教育9年間の教育目標を設定し、その実現に向けた教育課程を編成して実践していくことが望まれる。</p> <p>(3) 日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定について → ①日野町全地区を校区とした施設一体型の学校を設置 ②義務教育9年間の教育目標を設定、系統的な教育課程を編成 ③校風や伝統、地域との関わりなどを考慮した教育課程 ④コミュニティ・スクールを推進、日野町の未来を創る児童生徒の育成</p> <p>(4) 小学校統合または義務教育学校の設置等、新たな学校を設立する場合の位置について → 今ある校舎の修繕を行い不足する教室等を増築して使用するのが現実的である。 災害に遭う危険性のある場所は極力避け、町民の避難場所としての機能を併せ持つ複合的施設とすることを考慮する。</p> <p>・答申 新たに義務教育学校を設置し、校区は日野町全地区とする。 付記（条件）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設一体型の義務教育学校を設置 (2) 位置については日野町、日野町教育委員会として判断 (3) 将来的には保育所も同一施設（敷地）内に移設 (4) 義務教育学校の位置は保護者、地域住民と十分に協議の上すみやかに実施 (5) 「日野中学校区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を義務教育学校に引き継ぐ (6) 地域の人々や伝統文化に触れたり、研究する活動を十分に行える環境を整える (7) 通学については児童生徒の安全を確保し、保護者負担の軽減に努める (8) 廃校の跡地利用、学校がなくなる地域の地域振興について日野町として具体的な施策を講じる (9) 日野高校や鳥取県教育委員会と協議しながら、義務・高校一貫教育について検討を進める <p>・当初から小学校統合をすべきだと考え、皆さんの意見を聞きメリット、デメリットについて考えながら参加した。</p>
---------------------------------------	--

<p>会 長</p>	<p>全会一致で施設一体型の義務教育学校にする方向になったことは良かったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付記の(4)について、学校の場所まで含めた諮問内容であったが、位置についてははっきりと決めず委ねるということによいか。 ・位置まで決定するには、相当詳しい内容を含めて協議できる体制を整える必要があり、安全な場所の選定や地区の方々との交渉などについて考えると、校区審議会で決めることは難しい。 <p>また、時間をかけずに結論を出さなくてはならないため、位置まで決定することは難しい。3年後には児童生徒数が100人を切り、1学年1名の学級が続く現状もあるので、スムーズに協議できる体制の中で決めていただいた方がよい。</p> <p>専門的な知識を入れて検討することとし、当初の場所の特定とは違うが、場所の選定の仕方に条件を付けて、早く決めていただいた方が現状を早く改善できると思う。</p>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校とする方向でよいが、場所の特定については、財政の影響もあるので、校区審議会としてはこのような答申でよいと思う。 ・菅福小学校のこともあり、学校がなくなった地域が疲弊することへの対応を、付記の(8)に記されたように日野町に願うことが必要。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・付記(1)～(9)が日野町の大きな課題となる。この宿題がひとつひとつ解決していくことを願い、よい答申だと思う。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(3) 日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定についての上から2行目「と」の後ろスペース削除修正。 ・(4)「今ある校舎の修繕を行うとともに不足する教室等を増築して使用するのが現実的である。」により、今ある学校から選定されることが分かる。また「災害に遭う危険性のある場所を新たな学校の場所として選択することは、極力避けるべきである。」により、ハザードマップのイエローゾーンやレッドゾーンでない場所を選ぶよう書かれていると思う。これらを踏まえ付記「(2) 義務教育学校の位置については、1の(4)に記した内容を十分考慮し、日野町、日野町教育委員会として判断されたい。」となっているが、おのずと絞られてくるなという印象。 <p>あえて「日野町、日野町教育委員会として判断されたい」というのがよいかどうか。</p>

<p>会 長</p>	<p>ハザードマップに掛からない学校が、老朽化のため改修経費が高くなったり時間がかかる場合は、日野町としての選択が難しいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「付記（４）義務教育学校の設置は、保護者、地域住民と十分に協議の上、できるだけすみやかに実施する」とあるが、なるべく早い方がよいという皆さんの意見だったと思う。住民への説明も含めて早く取り掛かる方がよいので、「できるだけすみやかに」という表現でよいのか、期限を定める必要はないのかと感じた。 ・場所については、ハザードマップなど専門的な視点から安全なところを選定する必要があるため、校区審議会で決めることは難しい。新しい場所に新規に設置することは財政的にも厳しいので、今ある学校を活用した方がよい。また、残った跡地をどうするかという問題もある。 <p>施設の長寿命化建築により 80 年くらい維持できるような方法も進められているので、安全な場所にある現在の学校を増改築して小中一体とすることがよいと思う。</p>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等の現状について、委員は分かっているが住民にもお知らせしないとイケない。児童生徒数は 130 人から 120 人、110 人と減少し、1 学年平均 10 人となり中学生は全校で 30 人となっていく。対話ができる授業ができないのではないかと、5 年も 6 年も先延ばしできない放っておけない事態だということを知っていただく時期にきているため「できるだけすみやかに」という表現にした。 ・答申（案）1 ページ目、記の 5 行目「適正規模」の「規」と「模」の間のスペース削除修正。 ・答申 1. の（２）「義務教育 9 年間の教育目標を設定し、その実現に向けた教育課程を編成していくことが望まれる。」について、「望まれる」となっているが実際には必須である。 <p>（３）②「新しい学校は、新学習指導要領に示された力を育成するためにも、義務教育 9 年間の教育目標を設定し、系統的な教育課程を編成することができる学校であることが望ましい。」についても必須だと思うが、できるだけ速やかに実施することとなったとき、この部分が不十分なまま実施されるのはまずいと思う。</p> <p>期限は定められていないが、教育委員会で義務教育学校を創るとなると、教育目標もきちんと設定しないまま進んでしまうことを危惧する。</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「新たな学校を設立する場合の位置について」これでよいのかと最初感じたが、会長の補足説明を聞いてこの答申でよいと思った。学校の位置について審議会で判断するのは難しく、諮問に対して「義務教育学校の位置については、日野町、日野町教育委員会として判断されたい。」という付記の内容でよいと思う。 ・「できるだけすみやかに」「跡地利用、具体的な施策を」など詳しく書くべきではないかと思ったが、校区審議会委員にはそこまで求められていないかと思うので、この問題を具体的に進めていく上でこの表現でよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・答申には問題ないが、どのように保護者や地域の方に説明して納得していただくかが、具体的にこれから進めていく中で大事になる。 ・新しい学校だけが避難場所の機能を持つだけでなく、廃校も跡地利用ということで、将来的に避難場所として十分活用されることがあるのではないか。西部地震のこともあり、住民の不安を払拭するためにも考慮すべき。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の位置については、小学校1年生から中学校3年生まで使える校舎のことも考え、校区審議会よりも教育委員会や町当局で議論していただいた方がよいと思う。 ・平成21年小中一貫教育、平成23年に保小中一貫教育を立ち上げて十分考えておかなければならないことは、多様な子どもたちに対応する教育指導。義務教育学校になると当然学級の人数も増えてくる。低学年から高学年へのつながり、小学校から中学校への移行にどう対応していくか。教員は増えるが兼務発令で対応できるかどうか。 ・社会に開かれた教育課程となれば、地域の先生、社会人をTTとして入れることによって、一人一人の子どもたちに対応する形をとってほしいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を入れることについては、今までの支援員やコーディネーターも含めて考えていくべきだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・答申1の(1)、(2)はこのままでよい。 (3)の①により、施設一体型の義務教育学校の設立について明確になっていると思う。 (4)で学校の位置について、日野町の将来、経済的なことも含めて考えると、現在の学校を活用するのがよいのか、複数の施設を利用するのか難しい問題だと改めて思った。 ・タイムスケジュールなど青写真を描きながら、住民への説明

	<p>をしていかななくてはならないのではないかと。できるだけ速やかに進めるのでよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用しなくなった学校の跡地利用について、青写真的なものによって地域の方に説明していくべき。 黒坂小学校に勤めていた時も、学校が無くなっても地域のコミュニティの拠点として活用していけたらと考えていたこともあった。 ・高校については、施設一体ではなく連携を図りながら教育を進めていくことでよいと思う。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のあった「教育課程についてきちんと準備する」ことについて付け加えたい。 教科担任制について、教育委員会で支援していただきスムーズにいくようお願いしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用について、民間利用が無くても地域の方が集まれる場所、避難場所として充実するなど考えおくと、住民の理解が得やすくなる。 ・先生方と地域を結ぶ間に、地域支援員やコーディネーターなど町の多くの方に支援してもらって、準備委員会の中からスタートしていただきたい。 校長先生がすべて責任をもってすることは大変なこと、先生方、教育委員会、場合によってはいろいろな委員を含めて決めていく必要がある。 具体的には、新しい学校になると校歌、校章、制服をどうするかなど、早速決めるべきことがたくさんある。 時代に合わせていく必要もあり、鳥取市の湖南学園では男女ともブレザーで、女性もセーラー服でなくズボンでよいということになった。 今まで通りでなく、時代に適合したものを考えることが必要になり、大人にとっても勉強になる。
<p>課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で、設置場所について日野高校黒坂校舎という意見があったが、手前の校舎は耐震改修していないため使用できないということだったため、新築や改修して校舎を設置することは莫大な費用がかかることが想定されるため、県や高校と話をしていない。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校区審議会で保護者に対してアンケートを実施したが、場所については後程伺うと記載していたので、設置場所に対してのアンケートを再度行いたい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップなど考えずに、住民が判断材料の少ない中で

	<p>回答した結果、もし危険区域内の校舎だった場合、後で扱いが非常に難しくなるのではないかと。</p> <p>追加工事や必要な施設の経費のことが分からないまま、アンケートに答えるのはどうなのか。</p>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校区審議会でも専門的な知識が無いので、町で判断してもらった方がよいと考えているが、住民も同じ状況ではあるためアンケートを取った方がよいかどうか迷っている。 ・ただ約束したことなので、今の状態でアンケートを取る必要があるのではないかと。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の代表として、時々保護者に対して校区審議会の内容を話すことがあるが、位置について後でアンケートを行うと、必ずしも約束しているものではないので、実施しないということは可能。 ・通学しやすいことだけで考えるのと、我々が資料を基に判断するのとでは、結果が全然違ってくるので、検討材料として扱いにくいいため、アンケート調査は実施しないとは言える。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも参考資料としてアンケートを実施するか、止めるかどちらでもよいと思う。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果、黒坂地区は現在のままでよいという意見が多かったが、それに対して設置場所のアンケートをするのはどうか。 ・今までの審議会でも、黒坂地区の委員は統合や義務教育学校のメリットについて微妙な返事をされていたし、今日も黒坂地区の保護者が欠席で、意見が分からないままアンケートを実施するのはどうなのか。
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについては、今までの意見だとそこまでしなくてもよいのではないかとということもあり、取りまとめが難しくなるようなら実施しない方がよいのではないかと。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは止めて、この答申を読めば保護者の理解もある程度得られるのではないかと。 ・逆にアンケートを取れば、文面を入れることが厄介になるのではないかと。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会ですとまとめた答申を教育委員会に提出して、位置について議論していただきたい。我々はいくまでも学校教育のあり方について審議して答申し、位置場所は行政に任せたい方がよい。
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施するならば、答申とは別として意識調査を

	<p>する方がよい。答申に影響するようなアンケート調査には反対する。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査については実施しない。
	<p>答申には修正を加えて確認していただき、良ければ提出したい。2月の校区審議会までに修正案を送付し、委員の意見を伺い修正したものを2月の校区審議会に諮りたい。</p>
課長	<p>その後は町の総合的判断が必要となると思うが、教育委員会や行政に委ねていく流れとしたい。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> 送付した修正案に対する意見は、メール、電話等何でもよいので知らせていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> より良い学校にするためにも、ぜひご意見をよろしく願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 付記(9)の高校との協議について、制度上では一貫教育は難しいので、「義務・高校連携教育」に書き直した方がよいのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> そのように修正したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今日の校区審議会の内容は、どこまで話をしてもよいものか確認したい。
課長	<ul style="list-style-type: none"> 校区審議会は公開しているし、議事録もHPに掲載しているので話をされてもよい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> むしろ皆さんに知っていただき、理解していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> これからの教育について、皆さんに一言い願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 他の校区から日野町の義務教育学校に入りたいと思われるような、魅力ある学校になるよう準備をし、興味をもっただけの理想の学校を目指したい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 湖南学園のように市内の校区を越えて入ってくるような義務教育学校がいくつかある。
委員	<p>日野町も人口が減っていき、町の魅力を教育の中からというのが大きな柱となるのではないか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 教員の働き方改革もあり、地域をどのように学校に取り込んでいくかが悩むところ。
委員	<p>テレビで、本土から離島の特色ある学校に入ってきている番組を観たが、どのような手法があるのか悩んでいる。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 勉強のことは先生に任せればよい、どこでも同じ教育が受けられる国だと思っている。
	<p>少人数の学校で、夢について聞いてもあまり答えてくれないが、夢を大きく語っても恥ずかしくない、言葉にする子どもたちが増えてほしいと思う。</p>

<p>委員</p>	<p>言葉にすると夢に近づいてくると信じている。言っていると応援してくれる大人もいる、周りとの関わりの中でさらけ出せるような子どもたちが育っていくとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校が設立すれば、コミュニティ・スクールも活発になることを期待している。 <p>現在保護者として学校に関わっているが、卒業すれば一地域住民となり学校を離れるのではなく、そこから学校運営に地域住民として携わっていくべきだという話をPTAの中でした。</p> <p>義務教育学校がどのようになるか期待していて、個人的には慣例に従うことなく攻めてほしい。制服や校歌にも凝ってほしいし、マスコミが取り上げるような斬新な新しい学習を考えてほしいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを見なくなった原因は、減っただけでなくバス通学となったこともあると思う。ひとつの学校になると、バス通学となりさらに子どもの姿を見れなくなるのはしょうがないので、逆に地域の方に学校に来てもらうしかない。参観日だけでなく普段から来てもらうには、学校内に病院やコンビニがあったらいいなと思うが無理なので、何とか招待して来てもらう方策を検討している。 <p>グラウンドでも自由に使えるような、来てもらうのにハードルが低い学校になるといいと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校がよいと思う。 <p>学校運営協議会でもどんどん地域の声を出していただいて、取り入れながら地域とともにある学校となってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つになってしこりが残るとマイナスとなるので、人権教育を前面に出した人を大切にする学校、教育エリアができれば近隣町とも将来的に一緒になれるかもしれない。 <p>地域とともに、人を大切にする学校ができればよいと思っている。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒坂小学校を卒業した子どもたちが、中学校にいったたくさんの友だちと出会って、より良い生活ができることが、現在の想いであるが、中学校入学は大きなきっかけ、節目であったり、大きなギャップであったり、自分自身を変えるチャンスでもある。 <p>義務教育学校となり一つになった時、子どもたちによっては閉塞感を感じてしまうのではないか。</p> <p>新しい学校になっても自分自身を切り替えるチャンスは、い</p>

<p>委員</p>	<p>つか意図的に節目を作っても、自分のスイッチを入れ替えることができる、周りもその子を見る目を変えることができる新しい学校でありたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中海テレビやひのチャンネルを観ていると、日野町在住でガイドや説明している人を多く見かける。そういう人を活かしながら地域学習取り組んでもらいたいと思う。 <p>そのためには学校で行う教科学習の知識、技能をしっかりと身に付け、学んだものが外に目を向け、また外からの状況が身に付きそれを活かしていくような、子どもの学力をしっかりとつけていく教育が理想である。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは夢や興味を持った時が一番だと思う。 <p>来る人が楽しんだり、子どもたちが喜ぶ環境の中で育ってあげばよい。</p> <p>日野町の歴史や文化に触れられるような、外に出ていくシステムを作ったり、外から一流の人を呼んで体験できたり、まさか学校でこんなことができるのかと世間がびっくりするような、子どもたちが興味をもって生きていける、そうすることで人材がどんどん育っていけるのではないかと考えている。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの意見を聞くと、とても熱いなと思った。 <p>この審議会の後も、その熱い思いを様々な場所で、次の新しい学校づくりの準備会でも、皆さんどんどん進めていただきたいと思う。</p> <p>日野町の保育所、学校を視察して、教育委員会が相当手厚い支援をしていると感じた。</p> <p>保護者、先生、教育委員会と住民が支援していくとより良い学校となると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ないので、いろいろな人と出会うことが勉強、体験になる。また町以外に連れて出たり、いろいろな人に来てもらうことが必要。声をあげれば支援するところがたくさんあるので活用してほしい。 <p>地元の宝を大切にするとともに、居ながらにして世界を知ることできる。</p> <p>学校として京都、奈良、東京にも出してほしいし、チャンスがあれば海外にも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に来てやすい場所をつくり、子どもたちの様子を見ることができるような集会所的な施設を考え、お年寄り、子ども、青年みんなが集える複合的なものを考えていただきました

<p style="text-align: center;">課 長</p>	<p>いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 万一のことも考えた複合的施設を考えなくてはならない。残った学校施設の活用について、町として提案してほしい。学校中心とした町づくりという広い視点で考えていけたらよい。 ・ 次回は2月開催予定。 答申ができれば、次回が最後となる。 ・ (2) その他 なし
<p>8. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし

令和元年12月24日

日野町校区審議会